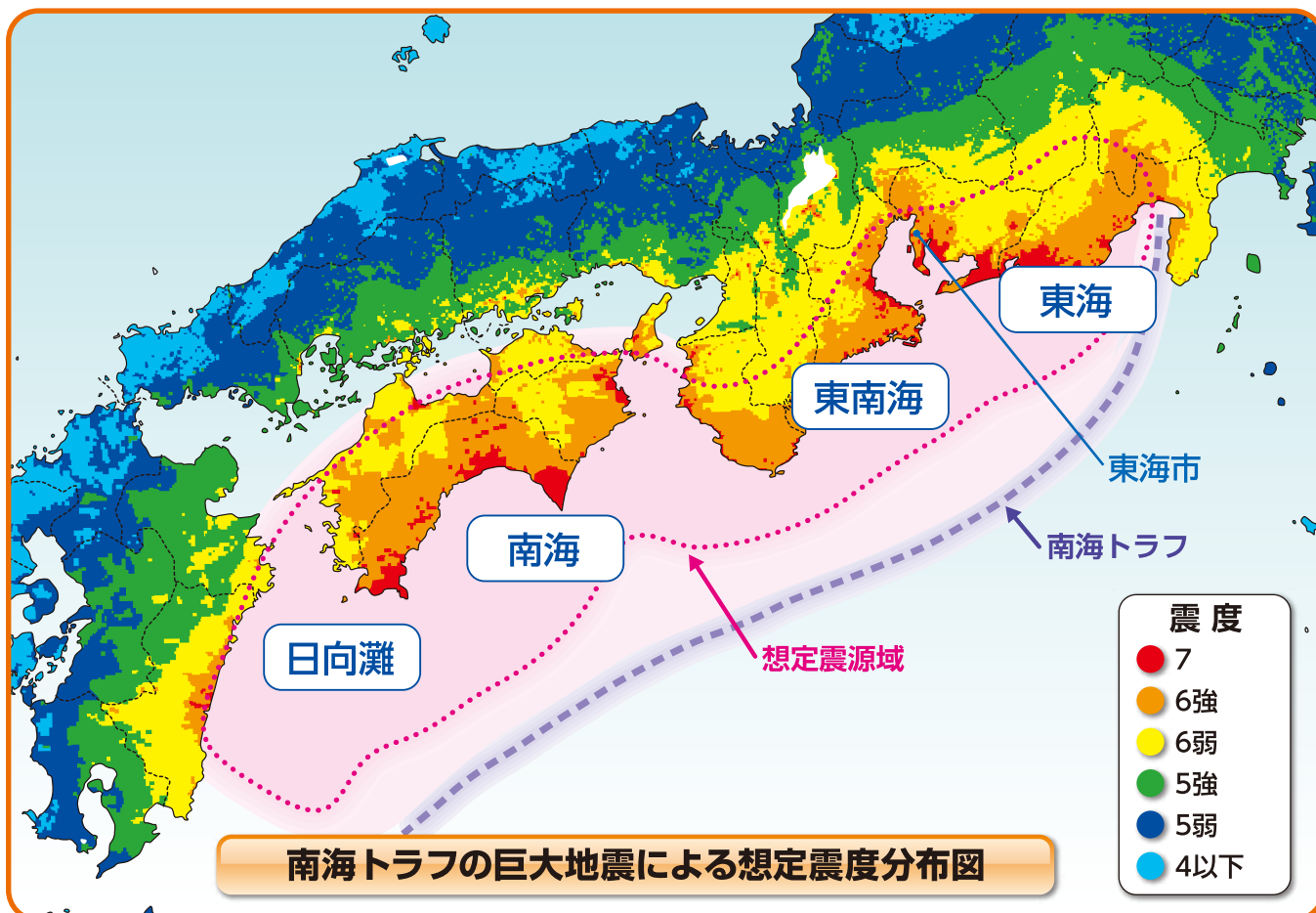


南海トラフ地震に備えよう

東海沖から四国沖にかけての領域を震源とする南海トラフ巨大地震。今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの規模の地震発生確率は、70%～80%とされています。愛知県では、南海トラフで発生した規模の大きな過去の地震をもとに、県独自に収集した地質データなどを追加し、推計したところで、東海市の最大震度は7と想定されました。



(出典:中央防災会議資料)

❖ 東海市の物的・人的被害想定結果(理論上最大想定モデル)

物的被害 ※1	被害状況		人的被害 (死者数) ※2	被害状況	
	揺れによる全壊	約5,100棟		建物倒壊等による死者	約300人
	液状化による全壊	約70棟		浸水・津波による死者	約60人
	浸水・津波による全壊	約200棟		急傾斜地崩壊による死者	被害わずか
	急傾斜地崩壊による全壊	約10棟		地震火災による死者	約100人
	地震火災による焼失	約2,600棟			

(出典:愛知県防災会議地震部会「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」平成26年5月30日発表)

※1 県全体の全壊・焼失棟数の合計が最大となる場合(冬夕方18時)を記載。想定条件:冬夕、風速5m/s

※2 県全体の死者数の合計が最大となる場合(冬深夜5時)を記載。想定条件:風速5m/s、早期避難率低